

島根県
大田市

地方創生DXソリューション (T-TwinVerse)を通じた いきいきしたまちづくり



伝統的な町並み保存のための業務効率化・高度化・文化の深化

T-TwinVerse (デジタルツインバース)とは

- 現実空間を模倣した仮想空間(デジタルツイン)を活用し、リアルタイムで情報を連携共有できる**次世代型のメタバース技術**
- 石見銀山大森町の3D 点群データや石見銀山の文献やデータを学習した生成AIを活用し、高精度のデジタルモデルを構築
- **教育や文化財の保存支援、交流人口の増加**など、様々な地域課題の解決へ応用を考えています



<3つの機能を搭載したプロダクト>

①
現実空間を
模倣
(デジタルツイン)

②
域外との
コミュニケーション
(メタバース)

③
地域の魅力
データベース
(生成AI)

経緯/活動内容

2024年5月

- 石見銀山大森町にサテライトオフィスを開設
- **ローカルゼブラである群言堂**グループの株式会社石見銀山生活観光研究所との協定締結
- デジタルツインバースによる石見銀山DX化事業」の開始
(デジタル田園都市国家構想**交付金を活用**)

2024年11月

- 市内小学校7校にて、**探究学習**(石見銀山学習)の実施
児童のうち99%が石見銀山への関心向上、先生のうち約90%が児童の積極性向上、約60%が石見銀山への理解向上を実感

2025年6月～2026年2月

- 市内小中学校での石見銀山学習の実施(**生成AI教育含む**)
- **文科省DXハイスクール採択校向けのデジタルものづくりの授業実施**
- 総務省「郵便局の利活用推進事業」の一環で、石見銀山大森郵便局内にT-TwinVerseブース設置

コメント・エピソード

- 子どもたちが次々と自分の課題を解決してタブレットでまとめていました。「次は、○○を調べよう」という見通しがもて、子どもたちが計画的に学びを進めることができた
- 学習への自発的関与、学習効果が高まるなど、意図を持った探究型学習へ移行できる

地域と当社が目指す姿

- 石見銀山大森町の活性化
- 重要伝統的建造物群保存地区における文化財保存のモデルケース
- 関係人口の増加(観光客、視察などの増加)
- 教育・文化の深化(学校教育等)

教育場面での活用(探究学習DXの推進)

児童はアバターに扮し、ゲーム感覚で石見銀山の町並みを自由に歩き回り、生成AIによるフォローを受けながら生徒一人一人の興味関心に応じた内容を自主的に学ぶことで、石見銀山への理解をさらに深めることに貢献します。



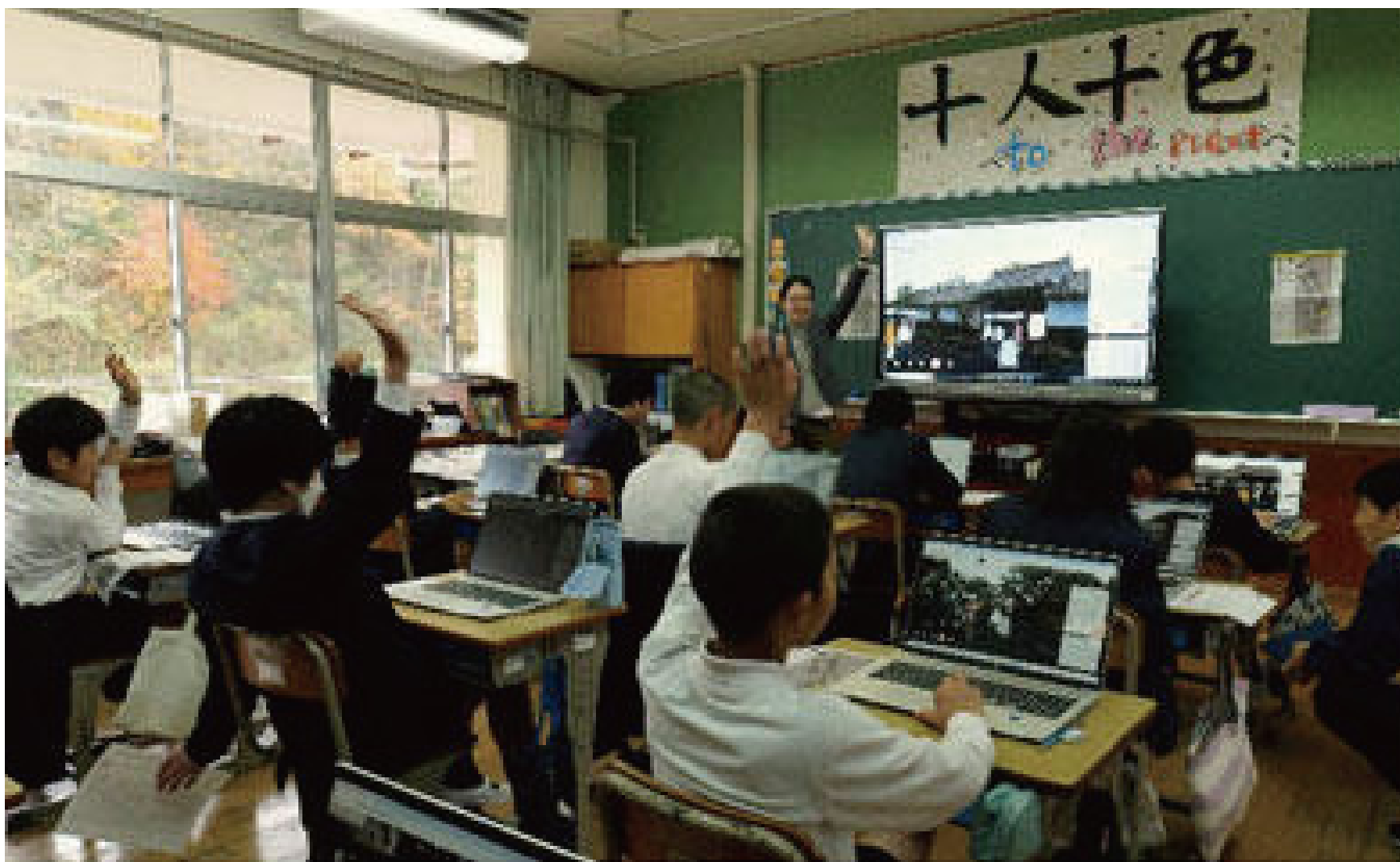
ゲーム感覚で
楽しみながら
自主的に学習できる



AIが
より深い学習を
サポート



学習効果が実際の
観光やまちづくりで
活用できる



探究学習の様子



T-TwinVerseでAIと対話する様子